

# 令和6年度 第1回 宮崎県地域年金事業運営調整会議資料

令和6年8月1日

於：ニューウェルシティ宮崎



**日本年金機構**

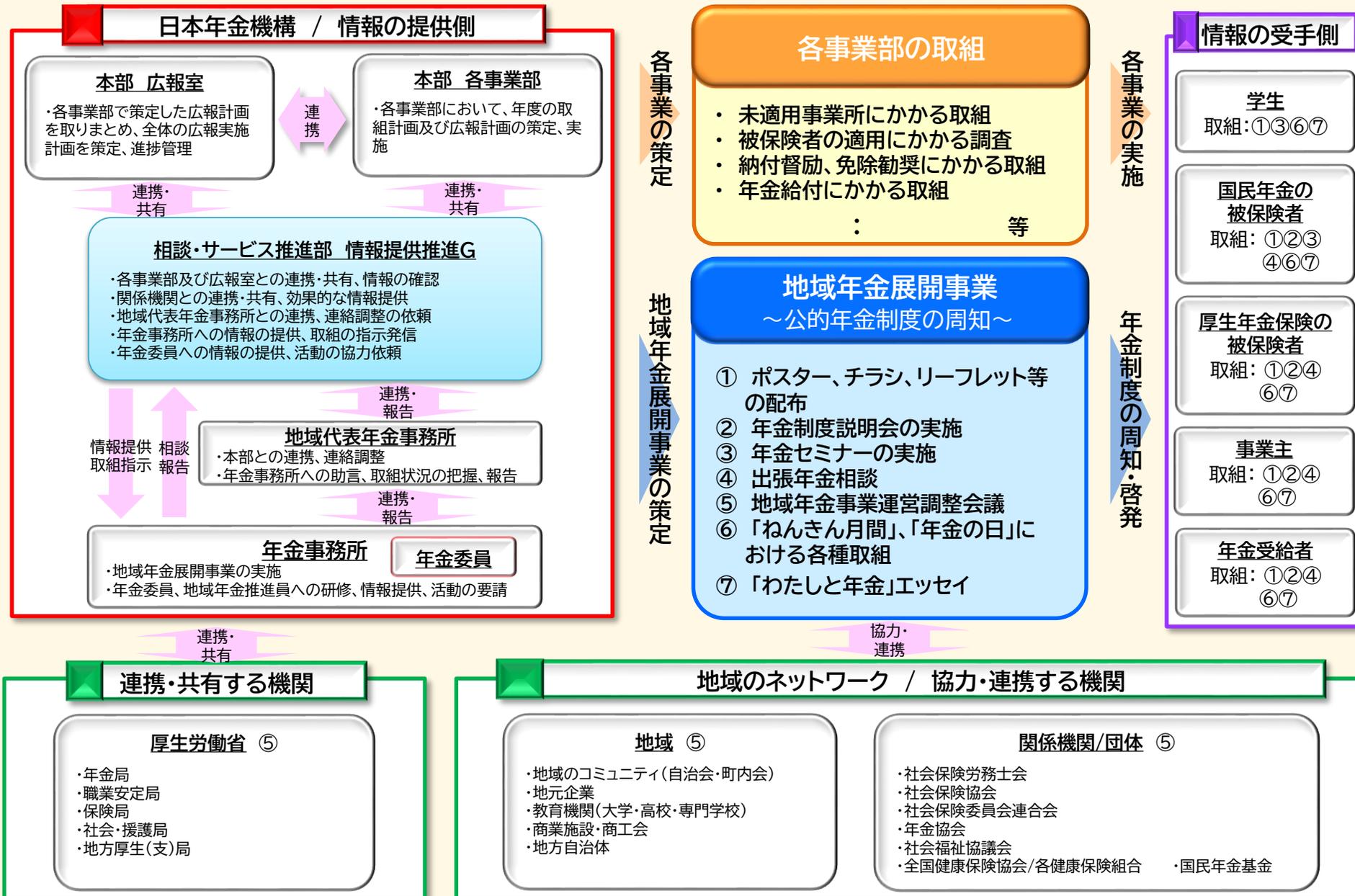
Japan Pension Service

# 目次

1. 地域年金展開事業の概要 . . . . . P1
2. 令和5年度事業実施結果報告（令和5年4月～令和6年3月） . . . . . P4
3. 令和6年度事業計画 . . . . . P30

# 1. 地域年金展開事業の概要

# (1) 地域年金展開事業の概要



## (2) 地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆ 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料納付率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』『出張年金相談』等を実施します。
- ◆ 日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

### 《具体的な取り組み内容》

#### 地域連携事業

- ・ 職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・ 市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

#### 年金セミナー事業

職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。  
大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

#### 地域相談事業

年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

#### 年金委員活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

#### 地域年金事業運営調整会議

公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

## **2. 令和5年度事業実施結果報告**

**(令和5年4月～令和6年3月)**

# (1) 地域連携事業

## 計画

### 〇チラシ・ポスター等の配布 および掲示



### 市町村や年金委員への協力依頼

年金相談のインターネット予約や、ねんきんネット利用に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への周知広報を実施しました。

また、市区町村や年金委員に日本年金機構アニュアルレポートを送付し、事業運営の状況や目標の達成状況についての報告を行いました。

市区町村職員向け情報誌「かけはし」を定期的に発行し、管内市町村へ制度改正や事務処理上の留意点等について、タイムリーな情報提供を行いました。

(送付時期)

5月、7月、9月、11月、1月、3月 ※奇数月に発行

### 宮崎県内税務署への協力依頼

ねんきんネットを利用することで、確定申告や年末調整に必要な「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」や「公的年金等の源泉徴収票」といった通知書の電子データを受け取ることができ、受け取った電子データは、e-Tax\*での確定申告等で利用できることから、「ねんきんネットの利用促進」に関するチラシの設置依頼を行いました。（令和5年6月）

\* 国税に関する各種手続きを、インターネット等を利用して電子的に行えるシステム

また、確定申告時期の税務署、年金事務所双方の窓口混雑緩和を図るため、「年金受給者の源泉徴収票再交付手続き」、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書の再交付手続き」に関するチラシの設置依頼も行いました。（令和6年1月）

## 総括および課題



ねんきんネットの利用者数は令和6年3月末現在で1,098万人に到達しました。  
(令和4年度末908万人から190万人増)

今後も、お客様の利便性向上や当機構の事務処理の効率化を実現していくため、ねんきんネットの各種個人向けオンラインサービスについて、引き続き各種広報や年金事務所へ来所されるお客様へのリーフレットを活用した利用促進に取り組んでまいります。

令和6年6月3日より、マイナポータルとねんきんネットを連携させることで、年金の未加入期間が無いなどの一定の条件を満たした方については、ねんきんネットから老齢年金請求書の電子申請が可能となりました。

計画	実績	総括および課題
----	----	---------

**○年金制度説明会の開催**

市町村の国民年金事務担当者（初任者、窓口）への研修を実施しました。

6月、11月、12月については、各年金事務所での研修とあわせて、九州厚生局との共催による九州管内市町村職員への国民年金関係事務説明会を開催しました。（機構のテレビ会議システムを活用し博多年金事務所から各研修会場へ発信）

各種年金制度説明会を開催するにあたっては、昨年度と同様、令和5年度においても市町村職員向けの研修実施を重点取り組み事項として位置づけて取り組みました。

今後も、市町村のニーズを踏まえながら研修を充実させてまいります。

**・市町村の国民年金事務担当者への研修**

管轄事務所	実施日	会場	内容	参加人数
延岡	5/17	延岡年金事務所	初任者向け国民年金・老齢年金事務手続き	13名
都城	5/17	都城年金事務所	初任者担当者向け研修	20名
高鍋	5/29	高鍋年金事務所	国民年金・年金給付に関する制度、事務手続き	8名
宮崎	6/8	宮崎年金事務所	国民年金に関する制度、事務手続き	5名
延岡	6/8	延岡年金事務所	国民年金に関する制度、事務手続き	6名
都城	6/8	都城年金事務所	国民年金・障害年金に関する制度、事務手続き	4名
高鍋	6/8	高鍋年金事務所	国民年金・年金給付に関する制度、事務手続き	4名
宮崎	6/14	宮崎年金事務所	国民年金に関する制度、事務手続き	3名
延岡	6/14	延岡年金事務所	国民年金に関する制度、事務手続き	6名
都城	6/14	都城年金事務所	国民年金・障害年金に関する制度、事務手続き	3名
高鍋	6/14	高鍋年金事務所	国民年金・年金給付に関する制度、事務手続き	5名
宮崎	11/30	宮崎年金事務所	障害年金の手続き	4名
延岡	11/30	延岡年金事務所	国民年金に関する制度、事務手続き	7名
都城	11/30	都城年金事務所	任意加入・障害年金に関する制度、事務手続き	3名
高鍋	11/30	高鍋年金事務所	国民年金・年金給付に関する制度、事務手続き	6名
宮崎	12/1	宮崎年金事務所	障害年金の手続き	3名
延岡	12/1	延岡年金事務所	国民年金に関する制度、事務手続き	6名
都城	12/1	都城年金事務所	任意加入・障害年金に関する制度、事務手続き	3名
高鍋	12/1	高鍋年金事務所	国民年金・年金給付に関する制度、事務手続き	4名

計画	実績	総括および課題
----	----	---------

そのほか、一般の方や適用事業所担当者説明会を実施しました。

・一般の方を対象とした説明会（年金給付全般）

管轄事務所	実施日	会場	対象	参加人数
宮崎	10/11	宮崎市加納地区交流センター	一般の方	37名

・適用事業所担当者を対象とした説明会（算定基礎届事務講習会等）

管轄事務所	実施日	会場	対象	参加人数
都城	6/13	三股町立文化会館	管内適用事業所（都城・北諸地区）	130名
都城	6/14	小林文化会館	管内適用事業所（小林・えびの・西諸地区）	70名
延岡	6/15	野口記念館	管内適用事業所（延岡地区）	106名
都城	6/15	串間市中央公民館	管内適用事業所（串間地区）	20名
延岡	6/21	日向市中央公民館	管内適用事業所（日向地区）	67名
高鍋	6/22	高鍋町美術館	管内適用事業所	54名
延岡	6/23	高千穂町自然休養村管理センター	管内適用事業所（高千穂地区）	37名
宮崎	6/27	宮崎市民文化ホール	管内適用事業所（宮崎地区）	200名
宮崎	6/29	南郷ハートフルセンター文化会館	管内適用事業所（日南地区）	29名
宮崎	7/7	宮崎年金事務所	管内船員保険事務組合	3名

計画	実績	総括および課題
----	----	---------

○関係団体との協力連携による  
公的年金制度の周知等

県内の関係団体との協力連携を図り、各種説明会で制度の説明を実施しました。

関係団体にご協力いただき、広く公的年金制度の周知を行うことができました。

・社会保険協会主催の新任社会保険事務担当者説明会

管轄事務所	開催地区	実施日	会 場	参加人数
宮崎	宮崎地区	5/9	南郷ハートフルセンター生涯学習館	24名
宮崎	宮崎地区	5/11	宮崎市民文化ホール	117名
高鍋	高鍋地区	5/12	高鍋町中央公民館	17名
都城	都城地区	5/16	小林市文化会館	30名
都城	都城地区	5/17	都城市ウェルネス交流プラザ	58名
延岡	延岡地区	5/23	延岡市社会教育センター	52名
延岡	延岡地区	5/25	日向ひとものづくりセンター	25名
都城	都城地区	7/11	都城総合文化ホール	12名
高鍋	高鍋地区	7/13	高鍋町中央公民館	7名
延岡	延岡地区	7/19	延岡市社会教育センター	18名
宮崎	宮崎地区	7/20	宮崎市民文化ホール	115名
高鍋	高鍋地区	9/5	高鍋町中央公民館	141名
都城	都城地区	9/9	都城総合文化ホール	120名
延岡	延岡地区	9/12	日向市中央公民館	189名
宮崎	宮崎地区	9/13	宮崎市民文化ホール	680名
宮崎	宮崎地区	9/14	南郷ハートフルセンター	137名
都城	都城地区	9/15	小林市文化会館	70名
延岡	延岡地区	9/20	高千穂町自然休養村管理センター	72名
延岡	延岡地区	9/21	延岡市社会教育センター	261名
宮崎	宮崎地区	11/29	宮崎市民文化ホール	24名
延岡	延岡地区	12/4	延岡市社会教育センター	13名
都城	都城地区	12/6	都城市ウェルネス交流プラザ	10名

・宮崎県社会保険労務士会主催の説明会

管轄事務所	支部等	実施日	会 場	参加人数
都城	都城支部	5/22	都城総合文化ホール	15名
延岡	延岡支部	5/31	延岡労働局	30名
宮崎	宮崎支部	6/13	宮崎県トラック協会	66名

・宮崎県社会保険委員会主催の説明会

管轄事務所	支部等	実施日	会 場	参加人数
宮崎	連合会	6/23	ニューウェルシティ宮崎	14名
宮崎	宮崎地区	7/5	ニューウェルシティ宮崎	9名
延岡	高千穂地区	10/27	高千穂町コミュニティセンター	9名
延岡	日向地区	11/8	日向市中央公民館	42名
高鍋	高鍋地区	11/15	高鍋町美術館	35名
都城	都城地区	11/20	都城市ウェルネス交流プラザ	65名
都城	小林地区	11/21	小林文化会館	43名
都城	串間地区	11/22	串間市中央公民館	12名
延岡	延岡地区	11/28	延岡市社会教育センター	50名
都城	都城地区	2/16	メインホテル	15名

## (2) 年金セミナー事業

計画	実績	総括および課題																																				
<p><b>○年金セミナーの実施に向けた県内教育関係機関・各種学校への協力要請</b></p>	<p>宮崎県教育庁高校教育課および義務教育課、宮崎県総合政策部みやざき文化振興課、宮崎県私学振興会等の県内教育関係機関へ、年金セミナー実施や「わたしと年金」エッセイ募集に向けた協力要請を行いました。</p> <p>なお、今年度は宮崎県私学振興会のご厚意により、令和5年11月2日に開催された宮崎県私立中学高等学校長会の冒頭で日本年金機構からの説明時間をいただき、各学校長の皆さまへ直接年金セミナーの実施や来年度の「わたしと年金」エッセイ募集に向けた協力依頼を行うことができました。</p> <p>あわせて、県内の各種学校あて年金セミナー実施に向けた勧奨（アプローチ）を実施しました。</p> <p><b>・ 勧奨（アプローチ）回数（4～3月）</b></p> <table border="1" data-bbox="563 839 1491 1155"> <thead> <tr> <th></th> <th>大学・短大</th> <th>専門学校</th> <th>高等学校</th> <th>支援学校</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮崎</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>15校</td> <td>0校</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>延岡</td> <td>1校</td> <td>2校</td> <td>13校</td> <td>0校</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>都城</td> <td>1校</td> <td>11校</td> <td>15校</td> <td>0校</td> <td>27校</td> </tr> <tr> <td>高鍋</td> <td>0校</td> <td>4校</td> <td>3校</td> <td>0校</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3校</td> <td>17校</td> <td>46校</td> <td>0校</td> <td>66校</td> </tr> </tbody> </table>		大学・短大	専門学校	高等学校	支援学校	計	宮崎	1校	0校	15校	0校	16校	延岡	1校	2校	13校	0校	16校	都城	1校	11校	15校	0校	27校	高鍋	0校	4校	3校	0校	7校	合計	3校	17校	46校	0校	66校	<p>各学校への勧奨（アプローチ）にあたっては、まず文書を送付後、反応のあった学校を中心に訪問による勧奨を行いました。</p> <p>今後も、文書勧奨、訪問勧奨を織り交ぜながら効果的な勧奨につとめてまいります。</p> <div data-bbox="1714 546 1998 954"> </div> <div data-bbox="1714 1008 1998 1409"> </div>
	大学・短大	専門学校	高等学校	支援学校	計																																	
宮崎	1校	0校	15校	0校	16校																																	
延岡	1校	2校	13校	0校	16校																																	
都城	1校	11校	15校	0校	27校																																	
高鍋	0校	4校	3校	0校	7校																																	
合計	3校	17校	46校	0校	66校																																	

〇年金セミナーの実施

年金セミナーの開催要請があった学校に対し、実施方法や時間等について事前に打ち合わせの上、年金セミナーを実施しました。

実施にあたっては、各学校のご要望にあわせて、いわゆる講義形式だけでなく、ワークシート等を活用した参加型（対話型）形式も取り入れながら実施しました。

・セミナー実施回数（4～3月）

	大学・短大	専門学校	高等学校	支援学校	計
宮崎	0校	2校	7校	1校	10校
延岡	0校	0校	5校	1校	6校
都城	0校	5校	1校	0校	6校
高鍋	0校	2校	1校	0校	3校
合計	0校	9校	14校	2校	25校



・参加型形式で使用するワークシート（例）

1

2

3

7

## 計画

## 実績

## 総括および課題

対面によるセミナー実施のほか、各学校の授業時間や要望等にあわせて適宜使用できるよう様々な動画を収録した年金セミナー用動画（DVD）を送付しました。

### ・年金セミナー用動画（DVD）送付件数（4～3月）

	大学・短大	専門学校	高等学校	支援学校	計
宮崎	8校	22校	22校	0校	52校
延岡	1校	2校	13校	0校	16校
都城	1校	5校	2校	0校	8校
高鍋	0校	4校	3校	0校	7校
合計	10校	33校	40校	0校	83校

### ・年金セミナー用動画（DVD）収録内容

公的年金制度周知用アニメーション動画（全3話）



知っておきたい年金のはなし



※これらの動画は日本年金機構ホームページにも掲載しています。

今後も対面による年金セミナーの実施、年金セミナー用動画視聴のご案内を併用して引き続き若年層の方々への制度周知に取り組んでまいります。

令和6年度からは、DVDの送付に代えて厚生労働省YouTubeにアップロードした各種動画のURL等を掲載した動画案内文書を送付することとしました。

公的年金制度周知用年金クイズ動画（3本）



## ○地域年金推進員の委嘱

次代を担う若い世代（生徒）に対し公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員OB、現役の教職員、学校との関係や生徒へ伝える能力があると拠点長が判断する者を「地域年金推進員」として委嘱し、個別学校訪問形式で年金セミナー等の活動を行いました。

地域年金推進員によるセミナー実施件数：9校

地域年金推進員による訪問勧奨実施件数：15件

年金セミナーの活性化のためには、地域年金推進員の協力が極めて重要であるため、引き続き、連携を強化してまいります。

なお、宮崎県では現在1名を委嘱して活動を実施していますが、もう1名の委嘱についても検討しています。

## 【参考1】年金セミナー開催校（4～3月）

管轄	実施日	区分	対象校	講師	参加人数
延岡	7/27	支援学校	県立 延岡しろやま支援学校（保護者、職員）	機構職員	3名
都城	10/2	専門学校	豊心福祉学園	機構職員	6名
都城	10/6	専門学校	都城コアカレッジ	機構職員	48名
延岡	11/10	高等学校	県立 延岡高等学校	機構職員	220名
宮崎	11/27	支援学校	県立 清武せいりゅう支援学校ほか宮崎県内特別支援学校 （宮崎県内特別支援学校PTA連絡協議会）	機構職員	40名
宮崎	11/29	高等学校	クラーク記念国際高等学校	機構職員	39名
宮崎	12/12	高等学校	日南学園高等学校	地域年金推進員	124名
延岡	12/12	高等学校	延岡学園高等学校	機構職員	162名
宮崎	12/14～18	高等学校	県立 宮崎大宮高等学校 ※全9クラスを3日間かけて9コマに分けて実施	地域年金推進員	310名
宮崎	1/16	高等学校	宮崎東高等学校	地域年金推進員	40名
都城	1/16	専門学校	都城東高等学校看護専攻科	機構職員	13名
宮崎	1/25	専門学校	宮崎リハビリテーション学院	地域年金推進員	36名
延岡	1/30	高等学校	宮崎県立延岡工業高等学校	機構職員	218名
延岡	1/31	高等学校	宮崎県立青朋高等学校	機構職員	23名
都城	2/2	専門学校	都城看護専門学校	機構職員	25名
宮崎	2/13	高等学校	本庄高等学校	地域年金推進員	70名
都城	2/15	高等学校	都城西高等学校	機構職員	83名
宮崎	2/16	高等学校	宮崎北高等学校	地域年金推進員	118名
高鍋	2/16	高等学校	高鍋高等学校	機構職員	207名
延岡	2/21	高等学校	宮崎県立星雲高等学校	機構職員	105名
高鍋	2/21	専門学校	宮崎医療福祉専門学校	地域年金推進員	42名
高鍋	2/22	専門学校	児湯准看護学校	機構職員	11名
宮崎	2/28	高等学校	宮崎海洋高等学校	地域年金推進員	51名
都城	2/29	専門学校	藤元メディカルシステム附属医療専門学校	機構職員	25名
宮崎	3/1	専門学校	大原簿記公務員専門学校	地域年金推進員	82名

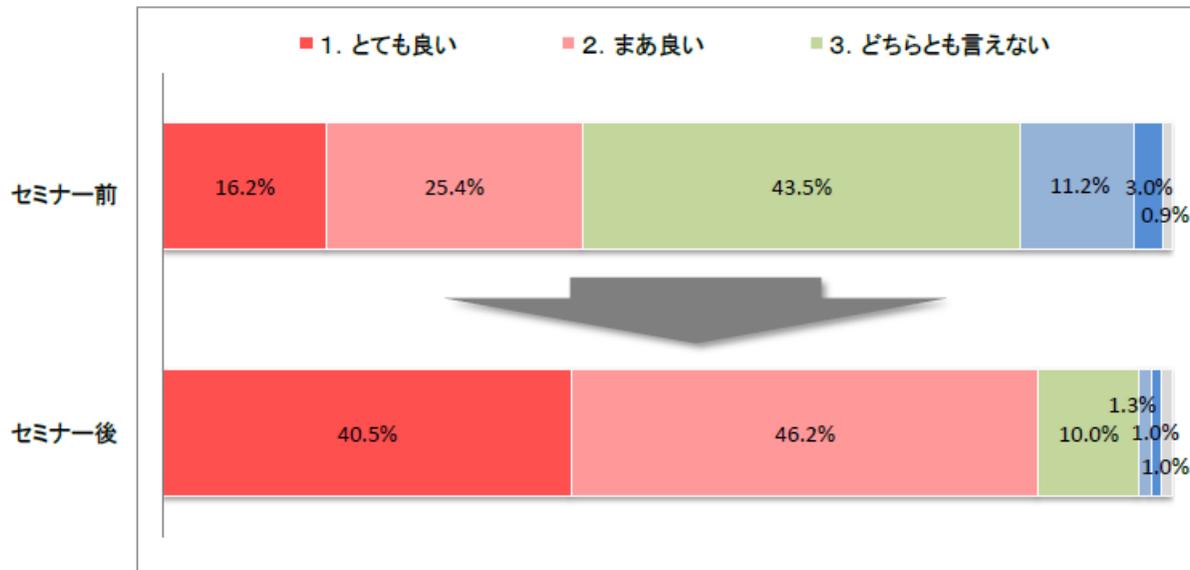
## 【参考2】年金セミナー実施後アンケート集計結果（4～3月）

※【回答数】1,818名（高校1,533名、専門学校265名）

### 1. 年金のイメージ

#### ○セミナー前

選択肢	回答
1. とても良い	294件
2. まあ良い	461件
3. どちらとも言えない	790件
4. あまり良くない	203件
5. 悪い	54件
無回答	16件

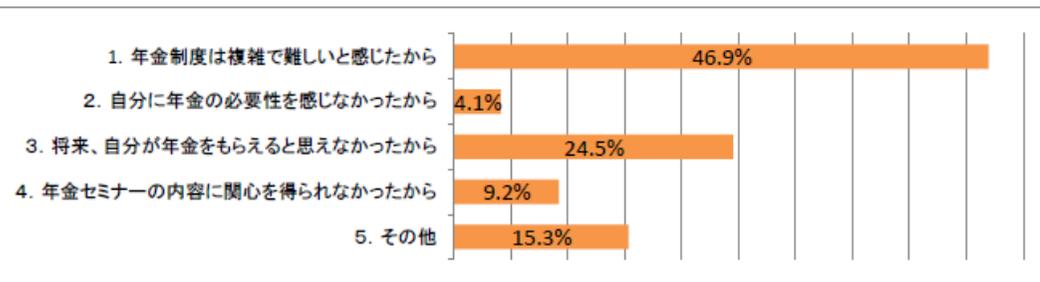


#### ○セミナー後

選択肢	回答
1. とても良い	736件
2. まあ良い	840件
3. どちらとも言えない	181件
4. あまり良くない	24件
5. 悪い	18件
無回答	19件

※セミナー後も「3. どちらとも言えない」「4. あまり良くない」「5. 悪い」を選択された方

選択肢	回答
1. 年金制度は複雑で難しいと感じたから	92件
2. 自分に年金の必要性を感じなかったから	8件
3. 将来、自分が年金をもらえると思えなかったから	48件
4. 年金セミナーの内容に関心を得られなかったから	18件
5. その他	30件

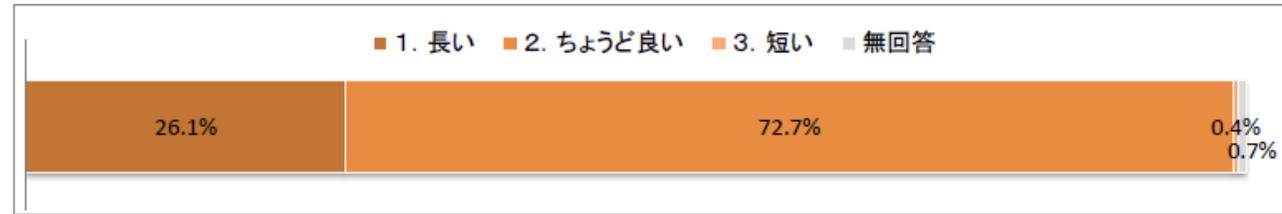


『まあ良い』以上の評価は、セミナー前の **41.5%** から、セミナー後は **86.7%** になりました。

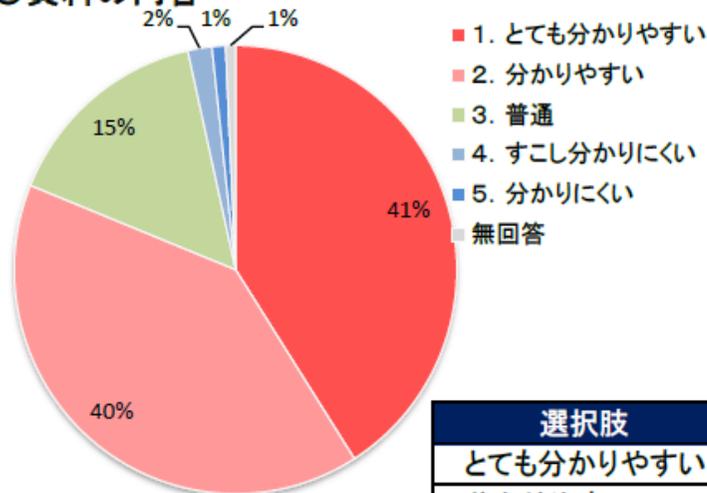
## 2. 講義について

### ○説明時間の長さ

選択肢	回答
長い	475件
ちょうど良い	1,322件
短い	8件
無回答	13件

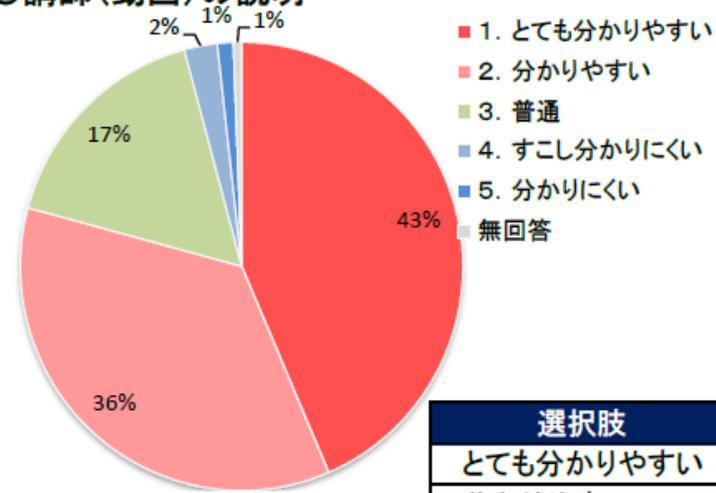


### ○資料の内容



選択肢	回答
とても分かりやすい	745件
分かりやすい	730件
普通	280件
少し分かりにくい	32件
分かりにくい	18件
無回答	13件

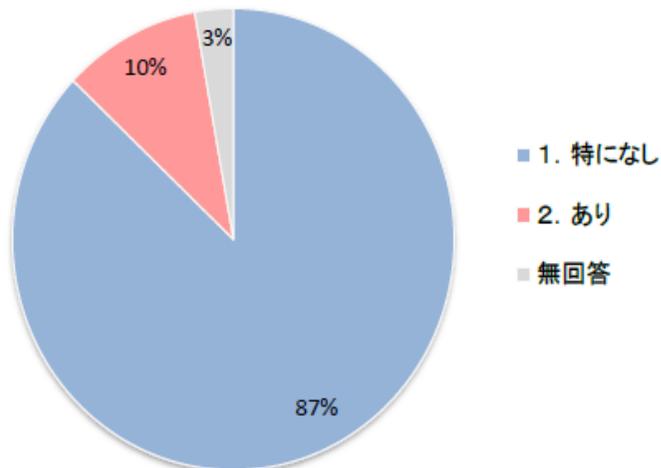
### ○講師(動画)の説明



選択肢	回答
とても分かりやすい	792件
分かりやすい	648件
普通	302件
少し分かりにくい	44件
分かりにくい	21件
無回答	11件

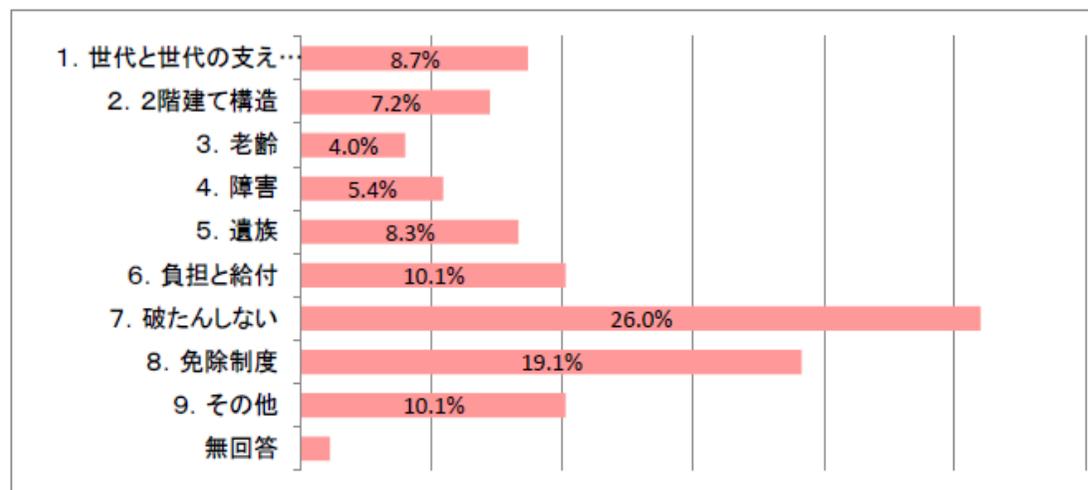
## ○詳しく説明してほしい内容の有無

選択肢	回答
特になし	1,583件
あり	184件
無回答	51件



### 「あり」の場合(複数回答)

選択肢	回答
世代と世代の支えあい	24件
2階建て構造	20件
老齢年金	11件
障害年金	15件
遺族年金	23件
保険料負担と給付	28件
公的年金は破綻しない	72件
保険料の免除制度	53件
その他	28件
無回答	3件

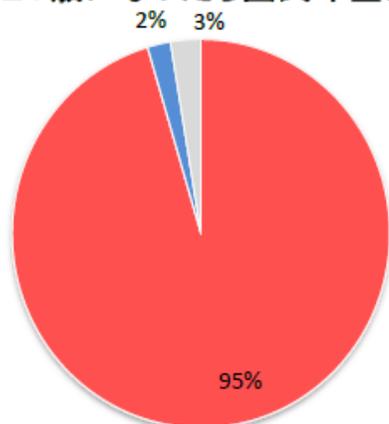


### その他の主な内容

- ・年金の問題や課題について。
- ・少子化が進んでいることで若い世代の負担が増えること。
- ・年金制度をどのように持続させようとしているのか具体的方向・方法を示して欲しい。
- ・将来も必ずもらえるという根拠。

### 3. 年金制度の理解度

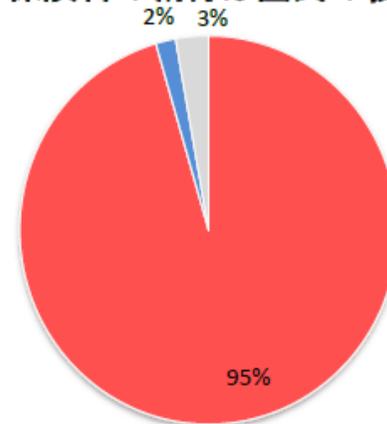
○20歳になったら国民年金に加入



- 1. 理解できた
- 2. 理解できなかった
- 無回答

選択肢	回答
理解できた	1,735件
理解できなかった	36件
無回答	47件

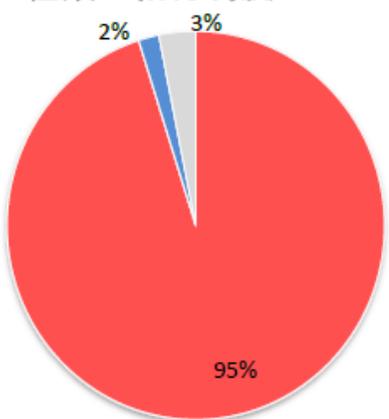
○保険料の納付は国民の義務



- 1. 理解できた
- 2. 理解できなかった
- 無回答

選択肢	回答
理解できた	1,736件
理解できなかった	31件
無回答	51件

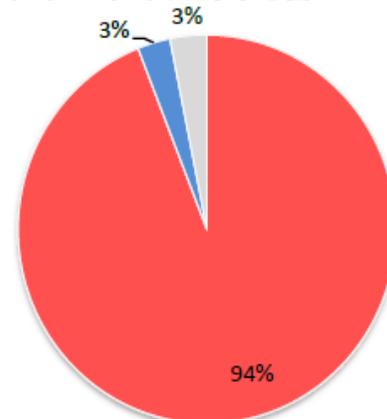
○3種類の給付制度



- 1. 理解できた
- 2. 理解できなかった
- 無回答

選択肢	回答
理解できた	1,729件
理解できなかった	32件
無回答	57件

○世代と世代の支え合い



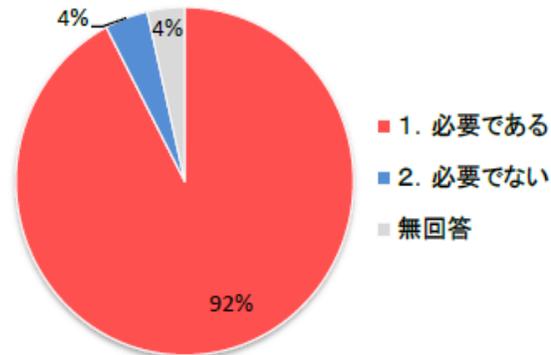
- 1. 理解できた
- 2. 理解できなかった
- 無回答

選択肢	回答
理解できた	1,710件
理解できなかった	51件
無回答	57件

## 4. 年金制度の必要性

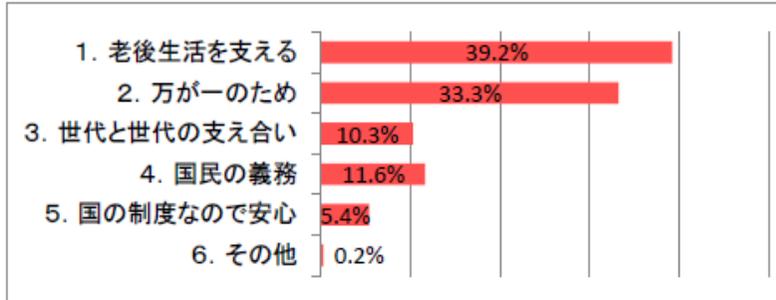
### ○年金制度は必要か

選択肢	回答
必要である	1,678件
必要でない	75件
無回答	65件



#### 「必要」の場合(複数回答)

選択肢	回答
老後生活を支える	1,289件
万が一のため	1,093件
世代と世代の支え合い	338件
国民の義務	382件
国の制度なので安心	177件
その他	8件

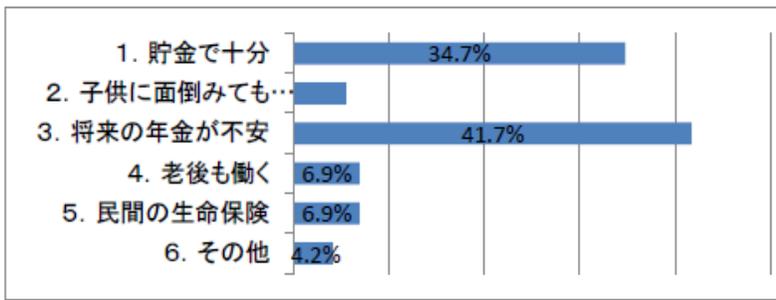


#### その他の主な内容

- ・必要だと思うけど将来受けとれるかは不安。
- ・詳細未記入。

#### 「必要でない」の場合(複数回答)

選択肢	回答
貯金で十分	25件
子供に面倒みてもらう	4件
将来の年金が不安	30件
老後も働く	5件
民間の生命保険	5件
その他	3件



#### その他の主な内容

- ・長生きしないから。
- ・体が衰えたら死にたいから。

### (3) 地域相談事業

計画	実績	総括および課題																																																												
<p>○出張年金相談の実施 (市区町村、関係機関等)</p>	<p>年金事務所から遠隔地となる市町村において、以下のとおり出張年金相談を実施しました。</p> <p>・出張年金相談実施回数(4~12月)</p> <table border="1" data-bbox="591 540 2055 1222"> <thead> <tr> <th>管轄事務所</th> <th>実施予定</th> <th>市区町村</th> <th>会場</th> <th>回数(回)</th> <th>相談人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮崎</td> <td>毎月</td> <td>日南市</td> <td>日南市役所</td> <td>12</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>延岡</td> <td>毎月</td> <td>日向市</td> <td>中央公民館(7月は日知屋公民館)</td> <td>12</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>毎月</td> <td>高千穂町</td> <td>高千穂町役場</td> <td>12</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>都城</td> <td>毎月</td> <td>串間市</td> <td>串間市役所</td> <td>12</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>毎月</td> <td>小林市</td> <td>小林市役所</td> <td>12</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>毎月</td> <td>えびの市</td> <td>えびの市役所</td> <td>12</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>高鍋</td> <td>毎月</td> <td>西都市</td> <td>西都市役所</td> <td>12</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>年2回</td> <td>西米良村</td> <td>西米良村役場</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>8市町村</td> <td>-</td> <td>86</td> <td>616</td> </tr> </tbody> </table>	管轄事務所	実施予定	市区町村	会場	回数(回)	相談人数	宮崎	毎月	日南市	日南市役所	12	116	延岡	毎月	日向市	中央公民館(7月は日知屋公民館)	12	129	〃	毎月	高千穂町	高千穂町役場	12	99	都城	毎月	串間市	串間市役所	12	64	〃	毎月	小林市	小林市役所	12	108	〃	毎月	えびの市	えびの市役所	12	56	高鍋	毎月	西都市	西都市役所	12	41	〃	年2回	西米良村	西米良村役場	2	3	合計	-	8市町村	-	86	616	<p>今後も住民ニーズを踏まえつつ引き続き市町村や関係機関と連携しながら実施してまいります。</p>
管轄事務所	実施予定	市区町村	会場	回数(回)	相談人数																																																									
宮崎	毎月	日南市	日南市役所	12	116																																																									
延岡	毎月	日向市	中央公民館(7月は日知屋公民館)	12	129																																																									
〃	毎月	高千穂町	高千穂町役場	12	99																																																									
都城	毎月	串間市	串間市役所	12	64																																																									
〃	毎月	小林市	小林市役所	12	108																																																									
〃	毎月	えびの市	えびの市役所	12	56																																																									
高鍋	毎月	西都市	西都市役所	12	41																																																									
〃	年2回	西米良村	西米良村役場	2	3																																																									
合計	-	8市町村	-	86	616																																																									

計画	実績		総括および課題		
<p>○ハローワーク説明会での国民年金手続き等の周知</p>	<p>宮崎県内の主要なハローワークの雇用保険受給者説明会に赴き、国民年金手続き等の周知を実施しました。</p> <p>・ハローワークにおける国民年金手続き等の説明会実施回数</p>		<p>令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響によりハローワーク都城以外での実施はできませんでしたが、令和5年度からはハローワーク宮崎、ハローワーク延岡での実施を再開することができました。</p>		
	管轄事務所	実施月	会場	実施回数	参加人数
	宮崎	4～3月	ハローワーク宮崎（※1）	89回（※3）	3,800名
	延岡	4～3月	ハローワーク延岡（※2）	45回	1,215名
	都城	4～3月	ハローワーク都城	71回	840名
	<p>※1 令和5年5月12日より実施を再開。</p>				
	<p>※2 令和5年6月30日より実施を再開。</p>				
	<p>※3 1日に複数回実施あり。（朝、午前、午後の最大3回）</p>				
	<p>上記以外のハローワークに対しては、国民年金手続きに関する届書、リーフレット等の設置や窓口での配布依頼や、説明用動画DVDの配布を行いました。</p>		<p>雇用保険受給者説明会への当機構による参加ができないハローワークにおいても、可能な限りの制度周知を実施することができました。</p> <p>今後も継続して取り組み、国民年金手続き等の周知を図ってまいります。</p>		
<p>○社会福祉施設等での説明会</p>	<p>その他、社会福祉施設等での制度説明会（研修）を実施しました。</p>				
	<p>・その他制度周知の実施状況</p>				
	管轄事務所	実施日	内容	会場	参加人数
	宮崎	10/30	年金給付（老齢）	宮崎県福祉総合センター	10名

## 計画

### ○教育機関等での 相談・受付窓口の開設



## 実績

今年度より、若年層への新たな国民年金保険料収納対策として、宮崎市内の8大学へ協力要請を行い、毎月1回各大学へお伺いし、学生の皆さんへの国民年金制度の周知、国民年金保険料の納付相談や学生納付特例申請の手続きの説明・申請書受理を行う取り組みを新たに開始しました。

実施に当たっては、大学側から全学生への相談・受付窓口開設日の周知メールの一斉送信や学内への案内板設置等、多大なるご協力をいただいています。

また、一部の大学については、保護者あての送付物に告知文書を同封いただけることになっています。

#### ・宮崎市内8大学での相談・受付窓口の開設状況

	大学名	訪問開始年月	学生総数	うち国民年金加入対象者	学生納付特例申請受付件数(～3月)
1	宮崎大学	令和5年7月 (毎月、第3火曜日)	5,444人(大学院含む) 令和4年5月1日時点	推計4,382人 (20歳～24歳)	260件
2	宮崎国際大学	令和5年7月 (毎月、第1水曜日)	579人(大学院含む) 令和4年5月1日時点	推計428人 (20歳～24歳)	26件
3	宮崎学園短期大学	令和5年7月 (毎月、第1水曜日)	434人 令和5年5月1日時点	推計203人 (20歳)	35件
4	南九州大学	令和5年10月 (毎月、第2火曜日)	988人 令和4年5月1日時点	推計720人 (20歳～22歳)	14件
5	南九州短期大学	令和5年10月 (毎月、第2火曜日)	130人 令和4年5月1日時点	推計75人 (20歳)	10件
6	宮崎産業経営大学	令和5年10月 (毎月、第2木曜日)	1,005人 令和5年5月1日時点	推計750人 (20歳～22歳)	3件
7	宮崎公立大学	令和5年10月 (毎月、第4木曜日)	445人 令和5年5月1日時点	推計345人 (20歳～22歳)	59件
8	宮崎県立看護大学	令和5年12月 (毎月、第3水曜日)	896人 令和5年5月1日時点	推計696人 (20歳～22歳)	5件

## 総括および課題

宮崎県内とりわけ宮崎年金事務所管内の20歳到達者に係る国民年金保険料納付率は全国と比較して低い傾向にあり、国民年金保険料納付率向上に向けた対策の中でも若年層対策は喫緊の課題となっています。

新たな取り組みのため、まだ数回の実施にとどまっていますが、今後も毎月定期的の実施することで、学生間の口コミ等による更なる相談者増につなげ、国民年金保険料納付率の底上げを図ってまいります。

# (4) 年金委員活動支援事業

計画	実績	総括および課題
----	----	---------

## ○年金委員への情報提供

地域型年金委員へ情報誌「なごみ☆便り」を偶数月に隔月で送付し、情報提供を行いました。

また、日本年金機構ホームページに設置している「年金委員ページ」から年金委員の活動に必要なトピックスの発信を毎月行いました。

### 【主な掲載内容】

- ・ Topicsおよび年金委員活動レポート
- ・ 年金制度説明会および年金委員研修資料・関係届書

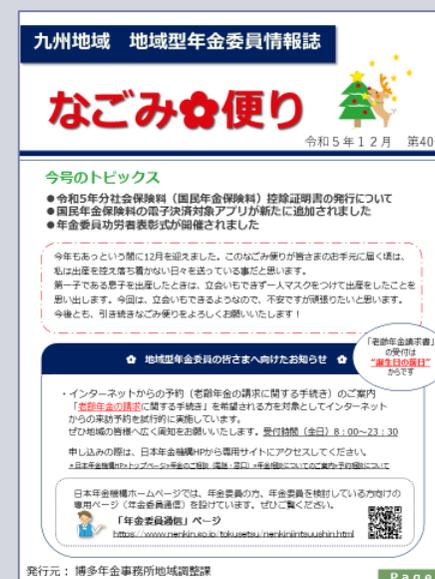


上記のほか、日本年金機構公式X（旧Twitter）を活用し、公的年金に関する制度周知、各種手続き、お送りする通知書の情報など、お客様のお役に立つ様々な情報発信を行いました。

### 【画面イメージ】



今後も引き続き、時期にあわせた内容を届けられるよう、各種情報提供につとめてまいります。



計画	実績	総括および課題
----	----	---------

**○年金委員研修の実施**

全国年金委員研修をWeb会議サービス（Microsoft Teams）および日本年金機構のテレビ会議システムを併用したオンライン形式により開催しました。

なお、今年度より東京への参集（各都道府県の代表者のみ）も再開され、宮崎県からは職域型年金委員1名（都城管轄）の方に東京での研修を受講していただきました。

**・全国年金委員研修（令和5年11月6日（月）14:00～16:30）**

管轄事務所	場所	議題	参加人数	
			（地域型）	（職域型）
宮崎	オンライン+東京参集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域型年金委員は各年金事務所へ参集し、日本年金機構のテレビ会議システムにより視聴</li> <li>・各都道府県の代表者は東京へ参集（宮崎県からは職域型年金委員1名が参加）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iDeCo(個人型確定拠出年金)について</li> <li>・子育て支援のための制度</li> <li>・オンラインビジネスサービスの推進</li> <li>・国民年金に係る制度周知</li> <li>・老齢年金の繰下げ制度</li> <li>・年金委員活動に関する説明等</li> </ul>	8名	30名
延岡			13名	24名
都城			6名	18名
高鍋			2名	39名

※研修会当日の内容は令和5年12月12日（火）までの間、見逃し配信を行いました。

全国年金委員研修のほか、以下の研修を実施しました。

**・地域における年金委員研修**

管轄事務所	実施日	対象者	会場	参加人数
県内合同	6/6	地域型年金委員	宮崎年金事務所（県内各年金事務所へTV配信）	25名
都城	8/4	地域型年金委員	都城年金事務所	4名
高鍋	11/2	職域型年金委員	高鍋中央公民館	10名
都城	11/16	地域型年金委員	都城年金事務所	6名

年金委員の活動は、職場や地域における制度周知・理解に欠かせないことから、各種情報提供や研修の実施等により、今後もしっかりとその活動をサポートしてまいります。

## 計画

## 実績

## 総括および課題

### ○年金委員委嘱数拡大

年金委員の推薦・委嘱について、被保険者50人以上の事業所、市町村職員OBや民生委員等への協力依頼を行いました。

結果として、地域型については、新規で8名の委嘱を行うことができましたが、辞退2名、任期満了30名により昨年度末の委嘱数からは24名のマイナスとなりました。

職域型については、昨年度末の委嘱数から24名のプラスとなりました。

### ・宮崎県における委嘱数の推移

#### (地域型年金委員)



#### (職域型年金委員)



地域型年金委員については、もともと高齢の委員が多く、3年間の任期満了を機に高齢を理由として継続を辞退する方が今年度は特に多かったことから、委嘱数は昨年度末より減少する結果となりました。

しかしながら、今年度からは日本年金機構全体の方針として、委嘱拡大対象を市町村職員OBや民生委員等に絞り、誰を委嘱するかを重視して取り組んでおり、同方針に従い新規で8名の委嘱を行うことができました。

職域型年金委員については、令和4年10月以降、令和6年10月からの短時間労働者の適用拡大に向け、制度改正の対象となる被保険者50人以上の事業所を対象に勧奨を行いました。今後も同様の方針で取り組んでまいります。

**年金委員 募集中!**

年金委員には、厚生労働大臣の委嘱により、会社内において年金加算の資格・報酬・負担などの活動を行う就業協力員です。手続が完了すると、厚生労働大臣で委嘱状が郵送共に届きます。

得をするの? 従業員への各種手続の担当・相談や、日本年金機構から送付する「ワンストップ」窓口内線予約券等をお使いいただくだけです。

費用はかかるの? 費用はありません。活動を行うための経費は日本年金機構が負担します(負担の範囲は、日本年金機構の規程に基づきます)。

**年金委員になるメリット**

- 【1】制度改正のお知らせ 定期的なお知らせを無料で受けられ、制度改正などの情報を、いち早く知ることが出来ます。
- 【2】研修会に無料参加 年金委員認定の制度改正等の研修会に無料で参加できます。
- 【3】表彰制度 活動の功績に対して、厚生労働大臣や日本年金機構理事長からの表彰制度があります。

## 計画

## 実績

## 総括および課題

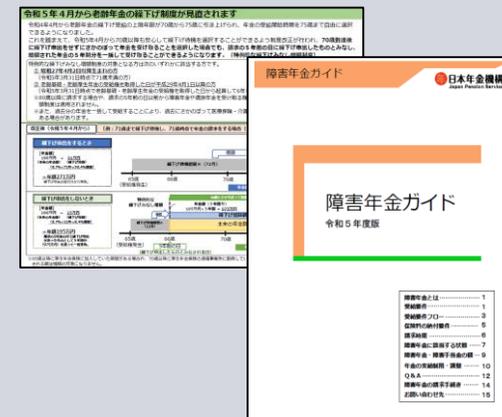
### ○地域型年金委員連絡会の開催 (半期に1回)

宮崎県内の地域型年金委員および年金事務所職員によって構成される「宮崎県地域型年金委員連絡会・地区連絡会」を開催し、制度改正事項の研修や、地域型年金委員の活動内容についての協議、意見交換を行いました。

実施時期	実施日	主な議題
上期	6/6	令和5年度活動方針 意見交換 研修会 ・令和5年4月からの年金制度改正等について ・障害年金制度のポイント
下期	11/6	全国年金委員研修 (TV) 上期の取り組み結果報告 下期の途中経過報告 今後の予定

【参考】宮崎県地域型年金委員連絡会・地区連絡会の構成

今年度より四半期に1回から半期に1回の開催へ変更となりましたが、その分、研修内容の充実を図るとともに、今後も定期的開催し、地域型年金委員相互の情報共有を図り、年金委員活動を組織的に活性化させてまいります。



### 宮崎県地域型年金委員連絡会

- ・各地区代表年金委員
- ・宮崎県内年金事務所長及び副所長

#### 宮崎地区連絡会

- ・宮崎管内の地域型年金委員
- ・宮崎年金事務所長及び副所長

#### 延岡地区連絡会

- ・延岡管内の地域型年金委員
- ・延岡年金事務所長及び副所長

#### 都城地区連絡会

- ・都城管内の地域型年金委員
- ・都城年金事務所長及び副所長

#### 高鍋地区連絡会

- ・高鍋管内の地域型年金委員
- ・高鍋年金事務所長及び副所長

# (5) 「ねんきん月間」 および 「年金の日」

計画	実績	総括および課題
----	----	---------

## ○公的年金制度の啓発活動

11月の「ねんきん月間」中、日本年金機構公式X（旧Twitter）にて、「**知っておきたい年金のはなし**」と題して、公的年金制度や手続きをわかりやすく案内し、機構ホームページの詳細説明ページや厚生労働省YouTubeへの誘導を行いました。

また、日本年金機構ホームページに「ねんきん月間」特設ページを設置し、若年世代をターゲットに、わかりやすく年金制度を学べるよう、既存の年金制度説明動画等の案内を行いました。

### 【ツイート内容（抜粋）】

(11月1日 (水) ツイート)  
 【11月は「#ねんきん月間」です】11月は、皆さまにより年金のことを知ってもらうため、「#知っておきたい年金のはなし」を毎日発信します。月曜日は年金の基礎、火曜日・水曜日は年金の様々な情報、木曜日は国民年金、金曜日はQuizKnockの年金クイズ動画について発信します。



## ○大規模商業施設等での出張年金相談会の実施



年金の日（11月30日）にあわせて、大型商業施設での出張年金相談を宮崎県内年金事務所の合同で実施しました。

実施日	開催場所	相談人数
11/30	宮交シティ 1階東口エントランス	30名

出張年金相談当日は、予想以上に多くの方にお越しいただき、年金記録の確認や年金見込額の相談など、大変ご盛況いただきました。

「ねんきん月間」は国民の皆さまに、公的年金制度を身近に感じ、理解を深めていただく機会です。来年度もこの機会を活かして、公的年金制度の周知・啓発に継続して取り組んでまいります。

## 計画

### ○「わたしと年金」エッセイの募集

### ○年金委員表彰

## 実績

11月の「ねんきん月間」にあわせ、公的年金の大切さや意義を一緒に考えていくため、6月から9月にかけて中学生以上の生徒・学生・一般の方々を対象に、ご自身やご家族などの身近な方と公的年金制度とのかかわり = 「わたしと年金」をテーマとしたエッセイの募集を行いました。



全国健康保険協会との共催により、「令和5年度 年金委員・健康保険委員 功労者表彰式」を開催しました。

日時：令和5年11月9日（木）14時～15時

場所：ニューウェルシティ宮崎2階 霧島の間

（年金委員表彰者数）

厚生労働大臣表彰 1名

日本年金機構理事長表彰 1名、日本年金機構理事表彰 4名

## 総括および課題

令和5年度は全国から1,609件の応募があり、宮崎県では一般の方から2件の応募がありました。

令和6年度は学生の皆さまからも応募いただけるよう、年金セミナー実施校を中心に各学校への協力要請や入賞作品集の送付など広報活動を実施してまいります。

〔令和6年度に入り、県内の各種学校34校を訪問（令和6年7月10現在）し、年金セミナーの実施のご案内とあわせて「わたしと年金」エッセイの募集についての協力要請を行っています。〕



## (6) 地域年金事業運営調整会議

計画	実績			総括および課題
<p>○地域年金事業運営調整会議の開催（年2回）</p>	<p>令和5年度地域年金事業運営調整会議を以下のとおり対面により開催しました。</p>			<p>委員の皆さまの貴重なご意見をしっかりと事業に活かせるよう引き続き取り組んでまいります。</p> <p>※前回会議でのご意見と対応状況については次頁を参照</p>
	会議	実施日	主な議題	参考資料
	令和5年度第1回	8/1	令和4年度事業実施結果の報告 令和5年度事業計画	ねんきんネット等の利用促進への取り組み
	令和5年度第2回	2/21	令和5年度事業実施結果中間報告 令和6年度事業計画（案）	「わたしと年金」エッセイ 入賞作品集

## 【前回会議でのご意見と対応状況】

ご意見	対応						
<p>1 (令和5年度第2回・令和6年2月21日)</p> <p>一般的に啓発というのは中々形や数字にならないと思うが、取り組みによってどのような効果があったのか、効果が見える資料作りが必要である。</p>	<p>(令和6年8月1日回答)</p> <p>年金セミナー事業等の啓発活動の効果そのものを数値化することは困難ですが、ご意見を踏まえ、参考として年金セミナー実施後のアンケート集計結果を資料に追記することとしました。</p>						
<p>2 (令和5年度第2回・令和6年2月21日)</p> <p>資料の構成として、「計画」「実績」「総括」とあるが、計画の中にある程度少し目標数値として出せるものがあれば、当会議の委員が各事業を評価しやすいのではないかと。</p> <p>精査・検討の上、出せるものがあれば出してほしい。</p>	<p>(令和6年8月1日回答)</p> <p>ご意見を踏まえ、令和6年度の重点取り組み内容のうち、若年層への制度周知（年金セミナーの実施）および企業担当者向けの制度周知（年金制度説明会の実施）について、以下のとおり参加人数の目標値を設定することとしました。</p> <table border="1" data-bbox="1087 689 2048 967"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年金セミナー</td> <td><b>1,180人 ※1</b> (宮崎：590人、延岡：214人、都城：274人、高鍋：102人)</td> </tr> <tr> <td>企業担当向け年金制度説明会</td> <td><b>672人 ※2</b> (宮崎：316人、延岡：132人、都城：170人、高鍋：54人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 機構全体としての目標17万人（昨年度比1万人増）を各年金事務所の20歳到達者数で按分したもの</p> <p>※2 機構全体としての目標8.4万人（昨年度比2千人増）を各年金事務所の適用事業所数で按分したもの</p>	項目	目標参加人数	年金セミナー	<b>1,180人 ※1</b> (宮崎：590人、延岡：214人、都城：274人、高鍋：102人)	企業担当向け年金制度説明会	<b>672人 ※2</b> (宮崎：316人、延岡：132人、都城：170人、高鍋：54人)
項目	目標参加人数						
年金セミナー	<b>1,180人 ※1</b> (宮崎：590人、延岡：214人、都城：274人、高鍋：102人)						
企業担当向け年金制度説明会	<b>672人 ※2</b> (宮崎：316人、延岡：132人、都城：170人、高鍋：54人)						

# 3. 令和6年度事業計画

# 令和6年度 重点取り組み内容

全国の年金事務所は、地域、教育、企業の中での年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結びつけるため、地域年金展開事業に取り組んでいるところです。

令和6年度については、国民の皆さまに対し、制度を知らないことによる不利益を生じさせないための情報提供を目的とした効率的な取り組みを、より多くの方に実施するものとします。

## 【重点取り組み内容】

### 1. 若年層への制度周知

年金セミナー（20歳到達者向け説明会を含む）の実施により若年層への制度周知を図る。

⇒ 目標参加人数：1,180人（宮崎：590人、延岡：214人、都城：274人、高鍋：102人）

### 2. 企業担当者向けの制度周知

企業担当者（職域型年金委員を含む）向け年金制度説明会を以下のテーマにより実施する。

- ☑ 算定事務講習会
- ☑ 短時間労働者適用拡大に関する説明会
- ☑ 育児休業に係る保険料免除等に関する説明会
- ☑ 事業所調査における指摘事項の多い事例に関する説明会
- ☑ オンライン事業所年金情報サービスに関する説明会

⇒ 目標参加人数：672人（宮崎：316人、延岡：132人、都城：170人、高鍋：54人）

### 3. 年金委員活動の活性化

年金委員活動に必要な情報提供を実施するとともに年金委員の委嘱拡大を図る。

# (1) 地域連携事業携

正しい年金制度の知識や手続き、制度改正等の情報等を地域において周知することは、地域年金展開事業の核となる重要な取り組みであるため、市町村、自治会、事業所、関係団体（年金協会、社会保険労務士会、社会保険委員会、社会保険協会等）等と連携し、地域に根付いた情報提供活動を積極的に実施する。

## 1. チラシ・ポスター等の配布および掲示

- ・地域住民の身近な窓口である市役所や町役場を中心に、関係機関や関係団体の窓口にもポスターやリーフレットを設置。
- ・地域住民や会員の情報収集ツールである市報や会報等に年金制度や出張年金相談に関する記事を掲載。
- ・市区町村担当職員向け情報誌「かけはし」を配布。

## 2. 年金制度説明会

- ・自治体等関係機関（団体）との協力連携を図り、年金制度説明会を実施。

## 3. 地域年金事業運営調整会議の参画機関等との連携による周知・啓発

## 4. 関係団体との協力連携による公的年金制度の周知等

- ・自治会、町内会、民生委員会等を通じての公的年金制度の周知・啓発活動を実施。
- ・関係団体の職（会）員への研修や商工会議所等のシニアプラン説明会等を実施し、協力・連携体制を強化。

## (2) 年金セミナー事業

年金セミナー事業は、学生・生徒等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただき、年金制度が身近で重要なものであることを学んでいただくための地域年金展開事業の核となる重要な取り組みであるため、更なる拡充に向けて積極的に取り組む。

また、引き続き若手職員を中心とした講師の育成を進めるとともに、受講者に応じた教材の見直しを進め、更なる充実を図る。

### 1. 年金セミナー実施に向けたアプローチ

- ・職員が大学・専門学校・高校等に出向き、年金セミナーの実施や「わたしと年金」エッセイ募集の要請を積極的に行う。
- ・県教育委員会や県立・私立高等学校長会および県中学校長会等に対し、学校現場での年金セミナー実施や「わたしと年金」エッセイ募集に関する通知の発出等の協力依頼を行う。

### 2. 年金セミナーの実施および充実化

- ・地域年金推進員を委嘱・活用し、次世代を担う生徒に対し、公的年金制度の仕組みや基本理念、正しい理解の普及を推進するため、個別学校訪問形式による年金セミナーを開催する。
- ・年金セミナー実施後のアンケート結果や先生方のご意見等および学校側からの要請に基づき、実施形式を工夫する。(実施にあたり、教材やワークショップ形式等開催形式を工夫。)
- ・大学で実施した場合、可能な限り学生納付特例申請書の受付を行う。

### 3. 大学や専門学校の窓口へのリーフレット等の設置

学生の身近な窓口である大学や専門学校の窓口にはポスターやリーフレットを設置する。

## (3) 地域相談事業

各年金事務所が主体となり、市役所・町村役場、自治会、大学、事業所、ハローワーク、ジョブカフェ、商業施設等において出張年金相談（学生納付特例申請窓口、免除申請窓口含む）を実施する。

### 1. 自治体（市町村）

年金事務所より遠隔地の市町村に赴き、年金制度説明会や出張年金相談を実施。

### 2. 労働局関係等（ハローワーク）

ハローワークの雇用保険受給者説明会で国民年金手続き等の周知を実施。

### 3. 企業・団体等

事業所等に赴き、年金制度説明会を実施。

### 4. 民間施設等（公共施設並びに商業施設）

ねんきん月間、年金の日（11月30日）にあわせて年金事務所や大規模商業施設での年金相談会を実施。

### 5. 教育機関等（大学、専門学校）

大学等に赴き、主に学生納付特例制度にかかる相談・受付窓口を開設。

### 6. 社会福祉施設等（養護学校、養護施設）

養護学校や養護施設等に赴き、職員や保護者に対し障害年金等を含めた年金制度説明会を実施。

### 7. 街角の年金相談センター宮崎（オフィス）の周知

## (4) 年金委員活動の活性化・委嘱拡大

年金委員活動の活性化とその委嘱拡大を最重要課題と位置づけ、定期連絡会や年金委員研修等による情報発信の充実を図り、年金委員の活動に必要な情報提供を十分に行うとともに、委嘱拡大に努める。

### 1. 定期的な研修会・意見交換会の実施

- ・厚生労働省大臣官房年金管理審議官通知に基づき、制度改正事項、重点協力依頼事項を中心とした研修および意見交換会を実施する。
- ・地域型年金委員連絡会を半期に1回開催し、地域型年金委員の組織的活動の活性化を図る。

### 2. 年金委員への情報提供および制度周知等への協力依頼

- ・「年金委員活動の手引き」や「なごみ便り」（地域型のみ）を送付し活動を支援する。
- ・啓発資料（「アニュアルレポート」「退職後の年金手続きガイド」等）を送付するなど、積極的に情報提供を行う。
- ・日本年金機構ホームページ（年金委員のページ）を充実させる。
- ・職域型年金委員による企業内での制度周知を依頼する。
- ・地域型年金委員による地域住民へのチラシ配布等による制度周知と情報提供を依頼する。

### 3. 委嘱数拡大に向けた取り組み

- ・関係団体との連携・協力により事業所への研修会での年金制度説明とあわせて年金委員制度の周知を図る。
- ・年金委員未設置事業所（特に被保険者50名以上の事業所）へ推薦依頼文書を送付し、職域型年金委員の委嘱拡大を図る。
- ・地域型年金委員については、高齢者や生活困窮者、若年者への幅広い周知・啓発等の年金委員活動を展開するため、市区町村関係や教育機関職員（OB含む）の新規委嘱に取り組む。

## (5) 「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み

11月の「ねんきん月間」や11月30日（いいみらい）の「年金の日」において、各年金事務所が創意工夫し、公的年金制度の普及・啓発活動および国民年金保険料収納対策を積極的に実施する。

### 1. 年金委員功労者表彰式の開催

### 2. 各年金事務所における公的年金制度の普及・啓発活動の実施

公的年金制度の普及・啓発活動とあわせて「ねんきんネット」等の普及を促進する。

### 3. 「わたしと年金」エッセイ募集

年金制度の意義や公的年金制度と国民の結びつきなどについて考えていただくため、自身や、家族等の身近な方と公的年金制度との関わりについてエッセイを募集する。

## (6) 地域年金事業運営調整会議

地域、教育、企業の中で公的年金制度に対する理解をより深め、世代・年齢、地域・職域を超えた社会連帯を図ることを目的に、有識者や関係機関、関係団体等の民間委員から構成される「地域年金事業運営調整会議」を開催し、地域に密着した公的年金制度の周知方法や納付率向上策等について意見交換を行う。

### 1. 開催時期（予定）

令和6年8月および令和7年2月（年2回）

### 2. 主な議事（予定）

令和6年8月 令和5年度事業実施結果報告、令和6年度事業計画

令和7年2月 令和6年度事業実施結果中間報告（4～12月）、令和7年度事業計画（案）